

受益者の皆さまへ

2024年4月16日

**弊社ファンドの基準価額の下落について（4月16日）**

下記公募ファンドの4月16日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。背景と今後の見通しについてご報告致します。

**【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】**

ファンド名	4月15日	4月16日	前営業日比	騰落率
CAMベトナムファンド	26,558円	25,184円	▲1,374円	▲5.2%

**【為替】**

為替レート	4月15日	4月16日	前営業日比	騰落率
ベトナムドン（100単位）/円	0.6128	0.6126	▲0.0002	▲0.0%

\* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

**【株価】**

株式指数	4月12日	4月15日	前営業日比	騰落率
ベトナムVN指数	1,276.60	1,216.61	▲59.99	▲4.7%

**基準価額下落の背景と今後の見通し**

昨日4月15日（月）のアジア市場は総じて軟調な動きとなり、ベトナムVN指数は前日比4.7%下落しました。背景として以下①～③の要因が考えられます。

- ① 前週末（4月12日）米国の株価が下落したこと（指標であるS&P500指数で約1.5%の下落）
- ② 4月13日にイランによるイスラエルに対する直接のミサイル等による攻撃が行われたことで、地政学的なリスクの高まりが意識されたこと
- ③ 対USドルでベトナム・ドンの下落が続き、ベトナム国家銀行（中央銀行）の為替防衛政策手段に手詰まり感が出ていたこと

為替市場では、米ドル高・円安も進行したことで、ベトナム・ドンは円に対しては横ばい圏での推移となっています。

ベトナムのファンダメンタルズを見ますと、外部環境からの長期にわたる不安定さにもかかわらず ADB（アジア開発銀行）の予測では2024年に6.0%、2025年には6.2%の実質国内総生産（GDP）成長率が見込まれています。コロナによる不況を克服し、同国の実体経済は順調に回復しています。また、足下の企業業績も順調に回復している動向が発表されています。特に大手銀行は二桁の増益を発表しており、貸付金の伸びが鈍化する中でも信用リスクの管理と利ザヤの確保によって堅調な増益を確保しています。VN指数でみた、2025年の1株当たり利益（EPS）は3月末時点で、前年比+26.0%（市場予想ベース）の増益が見込まれています。

世界経済の不透明感、インフレ懸念や金融引き締め長期化観測などで依然強く、ベトナム株式市場も変動性の高い展開が続けると想定されます。しかしながら、同国の堅調なファンダメンタルズを考慮すれば、予想PERが4月15日時点で11.2倍（12ヵ月先市場予想ベース）と過去10年間平均の13.3倍を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

## &lt;投資信託に関するご注意&gt;

## ■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入しておりません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## ■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%～0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## &lt;当資料に関するご注意&gt;

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会